



令和6年度第1号

# かてきょー通信

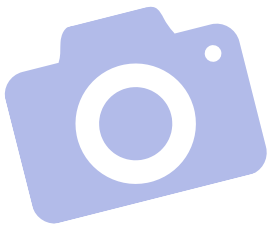
八代市  
家庭教育学級

## ひとこと

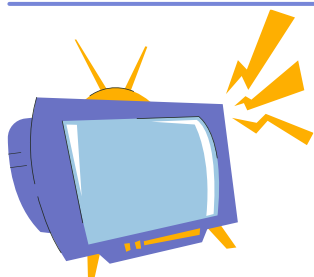
新年度が始まり、はや2か月が経ちました。今年度も八代市家庭教育学級事業をどうぞよろしくお願いいたします。さて、令和2年度より発行している家庭教育学級通信ですが、この度「かてきょー通信」に改名しました！「家庭教育学級って漢字が並んでてなんだか堅苦しいけど、難しいことは考えずに楽しんで家庭教育のことを知ってほしい！」そんな思いを込めています。また、年に1回の発行でしたが、今年度はもっと皆さんに情報をお届けすべく、3回発行を予定していますので、お楽しみに♪

## 家庭教育学級運営委員研修会を開催しました！

令和6年5月10日(金)に八代市公民館にて「令和6年度八代市家庭教育学級運営委員研修会」を開催いたしました。教職員や保護者の方、合わせて38名にご参加いただきました。研修会では、小原昌宏社会教育指導員の元、くまもと「親の学び」プログラムの体験を行ったり、木本芳照社会教育指導員によるスマホに関する講話を行いました。「親の学び」プログラムでは、「木の中のリス」等のアイスブレイクを行い、あちこちから皆さんの笑い声が聞こえてきました。講話では、現在多くの家庭で悩まれている、子どもとスマホやゲームの付き合い方をテーマにし、皆さん真剣にお話を聞かれている様子を伺うことができました。お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。



## 家庭教育のミニ知識



### 10秒ルール



子供がYoutubeをなかなかやめない、公園に連れて行くとなかなか帰りがらない・・・小さいお子さんの子育て中であれば、こんなお悩みをお持ちの方も多いのではないかと思います。

そんなときは、「10秒間はYoutubeを見ていいよ」「10数える間は滑り台で遊んでいいよ」と声をかけて、10数えてみてください。肝心なのは、「10秒しか」ではなく、「10秒も」という表現をすることです。10秒を与えると、子供はそこに全力で集中し、満足するようです。もちろん、10秒で満足いかない場合は、様子を見て追加の時間を与えてみてください。

大人も同じで、好きなドラマや漫画を読んでいるときに、急にやめなさいと言われたら嫌な気持ちになりますよね。（結末がわかる直前だったらなおさら・・・！）子供も同じですので、気持ちを理解してあげて、ぜひ10秒与えてみてください。



### 編集者後記

新年度が始まり、すぐに家庭教育学級運営委員研修会の準備をスタートしますが、毎年当日を迎えると感極まりそうになっています。みなさんが楽しんでくださる姿を見ることができ、嬉しく感じました！



### 発行・編集

八代市教育委員会 生涯学習課  
0965-30-1115  
syogai@city.yatsushiro.lg.jp



令和6年度第2号

八代市  
家庭教育学級

# かてきょー通信

## くまもと「親の学び」プログラムについて

みなさん、くまもと「親の学び」プログラムってご存じですか？くまもと「親の学び」プログラムとは、家庭教育や子育てについて学び、保護者同士のつながりをつくる参加体験型の学習プログラムです。子育てのポイントを身近な話題から楽しく学んでもらうことを目的としており、参加者同士の話し合いや振り返りなどを通じて学びます。トレーナーが出向いて、各学校、PTA、幼稚園や保育園、子育てサークルなど、保護者が集まるさまざまな機会に講座を開催しています。八代市生涯学習課には、元教師である2名のトレーナーが在籍しており、参加者が楽しんで学んでいただけるプログラムを行います。ぜひ、ご活用ください！詳しくは八代市生涯学習課（0965-30-1115）までお問い合わせください。

## 7男3女のお母さん 岸信子さんの講演会を開催しました！

11月8日（金）に岸信子さんをお招きして、講演会を行いました。岸さんは7男3女10人のお母さんで、20年以上前からテレビに出ていらっしゃいます。テレビで見たことがある方も多くいらっしゃるかと思いますが、とっても笑顔がチャーミングでテレビで見たままの温かく素敵な方でした。今回は、「どうせやるなら」という演題でご講演いただき、笑いあり涙ありの楽しい講演会でした。講演後は、参加者から岸さんへ質問コーナーということで、2名の方に質問をいただき、岸さんは質問に真摯に答えてくださいました。岸さん、貴重なお時間をありがとうございました。そして、保護者の皆様、教職員の皆様、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました！





## 「自由に生きる力」を 育てるために



子育てをしていると、「子どもにはこんな風に育ってほしい」と、想像すると思います。親が想像するのは自由ですし、理想を持つのも当たり前のことですね。ですが、親の理想が高すぎるあまりに、子どもに親の考えを押し付けてしまうのはどうでしょうか。ここで、現在97歳で現役保育士の大川繁子さんの本の一部を紹介します。

### ・子どもが心ゆくまで、満足するまで打ち込ませましょう

子どもたちは、一人ひとり違う敏感期を持ってます。まっすぐ成長し、その分野の力をぐんと伸ばすために不可欠な段階。ですから、どうかそのこだわりをワガママだと捉えないでください。まずは子どもの欲求を気持ちよく認めてあげましょう。

### ・あとで伸びる子は、今を満喫している

子どもが小さいうちは、大人にとってわかりやすい「教育」を詰め込む必要はない。それより、自分が選んだことに没頭する経験を、できるだけたくさん積みませたい。この経験こそが大人になって、自分がほんとうに没頭したいものを見つけた時のエネルギーになると信じています。

### ・決めるのは子ども。大人は「決めるための材料」を伝えるだけ

その子に関することは、その子自身に決める権利があります。私たち大人の仕事は、「決めるための材料」を与えることだけ。そして、子どもが決めたことには口出し無用です。

### ・ヒントを出して、あとは「自分で考えてね」

自由に生きるためには、考える力が不可欠です。だから、自分で考えて、どうするか自分で決めてもらうのです。

### ・話し合いの経験が問題解決能力を伸ばす

親が決めたルールを子どもに守らせるのではなく、一緒にルールを決めてみてはいかがでしょうか。

まだまだ素敵な言葉はたくさんありますが、ここでは紹介しきれませんので、ぜひ本を読んでみてください。そして、親は子どものサポーターとして見守ってみてくださいね。

## 編集者後記

大家族の番組が昔から好きでよく見ていました。岸さん一家がテレビに映ると、必ずと言っていいほど見ていたので、最初にお電話で依頼をさせていただいたときには、「岸さんとお話してる!」と緊張で手が震えてしまいました。初めてお会いしたときには、温かいお人柄にますますファンになりました♪



## 参考文献

「92歳の現役保育士が伝えたい親子で幸せになる子育て」  
著者：大川 繁子

## 発行・編集

八代市教育委員会 生涯学習課  
0965-30-1115  
syogai@city.yatsushiro.lg.jp

# かてきょ一通信

令和6年度第3号

八代市  
家庭教育学級

## 今年度も大変お世話になりました！！

今年度も残りわずかとなりました。1年間各学級で活動を行っていただき、ありがとうございました。生涯学習課の活動としましては、5月に「令和6年度家庭教育学級運営委員研修会」、11月に「岸信子さん講演会in家庭教育学級」を開催しました。また、様々な学校や保育園、幼稚園にお邪魔し、くまもと「親の学び」プログラムの進行役を務めさせていただきました。各学級ではそれぞれ特色のある活動を行っていただき、保護者の皆さんの学びの場となったことと思います。

今回は今年度最後の「かてきょ一通信」ということで、活動の一部をご紹介します。



代陽小学校

### 「親の学び」プログラム

11月28日（金）に、木本芳照社会教育指導員を迎え、反抗期についての「親の学び」プログラムを行いました。子どもの反抗期を成長のチャンスと捉え、参加をされた保護者の各家庭で起こる自己のアクションについて話し合うことで、良い解決策や解決の糸口になり、保護者同士の在り方や、家庭での心配や緊張をほぐすことができました。

(代陽小学校 研修委員長)

11月18日（月）に、橋本有沙さんを講師として迎え、「骨盤矯正withピラティス」を行いました。ピラティスの動きで自然と骨盤が整えられるという内容で、保護者の皆さんと一緒に楽しみながら、日頃の家事や育児で疲れた体をほぐすことができました。「いた〜い」「これ以上曲がりませ〜ん！」など、悲鳴をあげつつも、笑いながら楽しく交流する機会となりました。

(金剛みどり保育園 園長)



金剛みどり保育園

### 骨盤矯正 with ピラティス

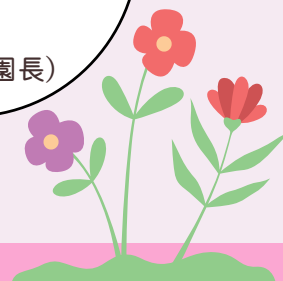
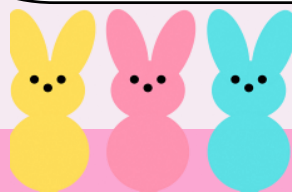
6月14日（金）に、山河ルミ子さんを講師として迎え、スマホを使って素敵に写真を撮るポイントを教えていただきました。技術面だけでなく、日頃から被写体（子供）と信頼関係を深めておくことで、表情豊かな写真が撮れることを教えていただきました。

(麦島幼稚園 園長)



麦島幼稚園

### ステキな写真を撮るポイント





## 小学生の反抗期



厳しい寒さも少しずつ和らいできましたね。もうすぐ今年度も終わり、入園入学進級のシーズンになりますが、今年度保護者の皆様は我が子の成長をゆっくりと見つめることができましたか。この1年でわが子が「反抗期に入ったかな？」と感じた保護者の方もいらっしゃるかもしれません。忙しい日々の中で子どもの反抗期を迎えると余裕がなくなってしまうかもしれません。今回はそんな保護者の皆さんに読んでいただきたい内容です。

### ～反抗期の子どもへの接し方～

#### ○根掘り葉掘り聞かない

子どもが「何だかいつもと違う？」と感じた時に、すぐに「どうしたの？」と聞いてませんか。自分で解決することも自立への一歩です。根掘り葉掘り聞かずにそっとし、見守ってあげましょう。でも、明らかにいつもと違うときは、すぐに声をかけてあげてくださいね。

#### ○親は聞き役！

小学校高学年でもまだまだ親には甘えたいくなることもあります。子どもが何か話したそうにしているときは、アドバイスをするよりも聞き役に徹しましょう。親が「うんうん」と聞いてあげるだけで、子どもはスッキリした、と感じてくれるかもしれませんね。

#### ○気分のムラがあることを知っておく

昨日と今日で言っていることや機嫌が違って、おおらかに受け止めてあげてください（と言ってもイラっとしてしまうかもしれませんが・・・）。子どもから「不安定な態度を安心して出せる相手」と思われているのかもしれませんが、反抗期の間は「いつまで続くんだろう」と途方に暮れてしまうかもしれませんが、ずっと続くものではないので、そんな子どもとの時間をこっそりと楽しんでみてください。

#### 「子育て四訓」

- 一、乳児はしっかり肌を離すな。
- 一、幼児は肌を離せ。手を離すな。
- 一、少年は手を離せ。目を離すな。
- 一、青年は目を離せ。心を離すな。

「子育ての心得」として知られる「子育て四訓」をご紹介します。これを提唱されたのは、山口県下関市の教育者の方です。子どもの発達段階に比例して、親と子どもの距離感を離していくこと。そんな親としてのスタンスをわかりやすい言葉で表現されています。厚生労働省の調査によると、「幼年」は0～4歳、「少年」は5～14歳、「青年」は15～24歳という区切りにすることが多いようなので、小学生の時期は手を離す時期となります。寂しさを感じることもあるかと思いますが、6年間をかけて徐々に手を離し、子どもたちの自立を支えていきましょう。

### 編集者後記

家庭教育学級の担当になり、2年が経ちました。この2年間で「親の学び」プログラムを行う前に保護者の皆さんの心をほぐすレクリエーション「アイスブレイク」の進行役を学校や保育園、幼稚園で経験させていただきました。保護者の皆さんの笑い声を聞き、笑顔を見ることができ、一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました♪



### 参考URL

- 「付属山口大学教育学部付属山口小だより」  
<https://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yamasyo/07oshirase/20200701.pdf>
- 「学研教室」  
<https://www.889100.com/column/column143.html>

### 発行・編集

八代市教育委員会 生涯学習課  
0965-30-1115  
syogai@city.yatsushiro.lg.jp